



平成26年10月28日

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 前年の質問や要望の対応
質疑応答
- 5 氷見市、女良地区の事業概要
- 6 意見交換会
- 7 閉会

市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
企画振興部長	高橋 正明	総合政策課 観光・マーケティング・おもてなしブランド課 市民参加と協働・防災のデザイン課 漁業交流施設整備推進室 商工・定住・都市のデザイン課 海浜植物園・花みどり推進室
市民部長	山口 優	福祉介護課 子育て支援課 市民課 健康課 病院事業管理室 環境・交通防犯課
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 能越自動車道対策室 上下水道課 農林畜産課 いのしし等対策課 水産振興課
教育次長	高田 長治郎	学校教育課 生涯学習・スポーツ課
地域担当職員	出戸 勝教	所属 総務課
地域担当職員	田中 健太	所属 会計課

前年の質問や要望の対応 と質疑応答

25ふれあいトーク全体の状況

平成25年度ふれあいトークのご意見と平成26年度予算の割合比較

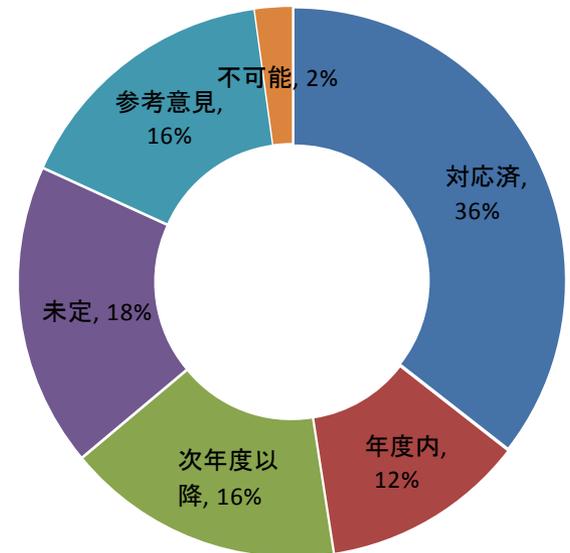
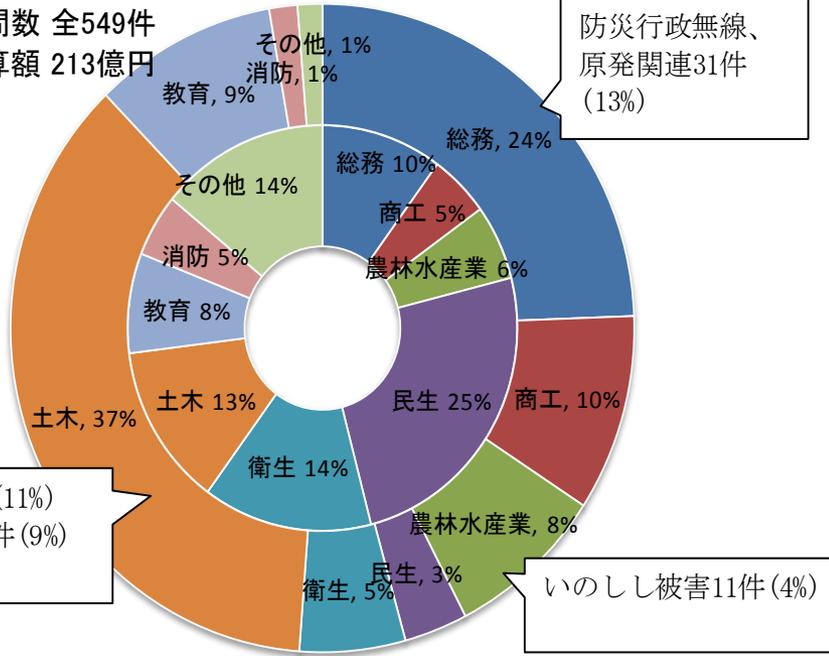
	質問数(件)	質問割合	予算額(億円)	予算割合
総務	134	24%	21.82	10%
商工	54	10%	11.07	5%
農林水産業	45	8%	13.49	6%
民生	18	3%	52.40	25%
衛生	30	5%	30.11	14%
土木	201	37%	27.11	13%
教育	52	9%	16.23	8%
消防	8	1%	10.08	5%
その他	7	1%	30.71	14%
	549	100%	213.02	100%

ご意見の対応可能性と対応時期

	質問数(件)	質問割合
可能	449	88%
対応済	195	36%
年度内	66	12%
次年度以降	90	16%
未定	98	18%
参考意見	88	16%
不可能	12	2%
	549	100%

※質問数には会場アンケートの件数も含まれています

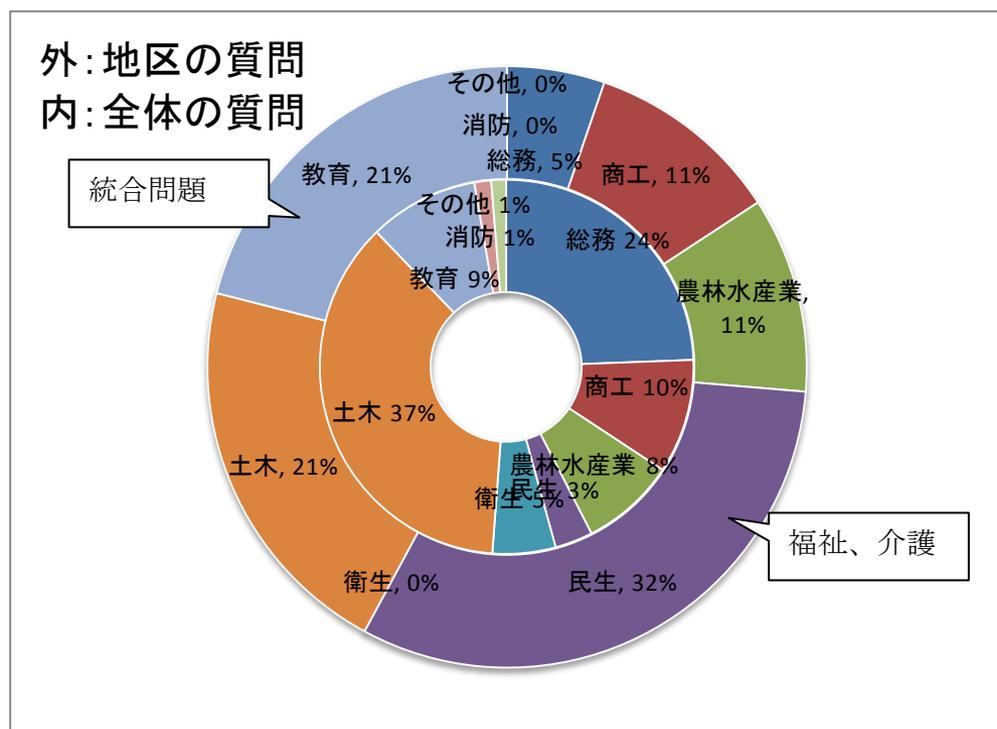
外:25年度質問数 全549件
内:26年度予算額 213億円



25ふれあいトーク地区の状況

女良地区ふれあいトークのご意見と全体のご意見の割合比較

	地区	割合	全体計	割合
総務	1	5%	134	24%
商工	2	11%	54	10%
農林水産業	2	11%	45	8%
民生	6	32%	18	3%
衛生	0	0%	30	5%
土木	4	21%	201	37%
教育	4	21%	52	9%
消防	0	0%	8	1%
その他	0	0%	7	1%
	19	100%	549	100%



対応済

- [1002-防災無線聞きにくい](#)
- 1006-高齢者アパート
- [1009-いのしし対策](#)
- 1010-中波路傍公園
- 2006-中波路傍公園

26年度内

- 1004-一律の福祉活動
- [1012-大つばき](#)
- 2001-大つばき
- 2005-平の山の池災害

可能

27年度以降

- [1004-一律の福祉活動](#)
- [1011-学校統合問題](#)
- [1013-10年以内の統合](#)
- [2002-棚田オーナー](#)

未定

- [1001-高坂山の道整備](#)
- [1003-交付機の利用率](#)
- [2004-放置船の処分](#)

参考意見

- 1005-宇波保育老朽化
- 2003-公共施設利活用

1007-介護保険料比較

1008-市民病院助成額

質問	防災行政無線が聞きにくい
回答	<p>防災行政無線については、その日の風向きやスピーカーの向きにより聞取りやすさに差異が生じており、ご迷惑をかけております。</p> <p>聞取りにくい場合は、防災行政無線と同じ内容を聞くことが出来るテレホンサービスを運用開始していますので、ご利用ください。</p> <h2>0180-99-7777</h2>
担当部署	市民参加と協働・防災のデザイン課 地域防災担当 74-8021

質問	イノシシによる農作物災害があるので対策をとってほしい
回答	今年度から専門的な対策をとるため「いのしし等対策課」を設けました。今年度は電気柵を5 km伸ばして 総延長約300 km に、捕獲檻は51基増やし 総数92基 に増設しました。それらの効果によりイノシシの捕獲数は、昨年の同時期に比べ 2.5倍以上の約252頭（10/28現在） となっています。
担当部署	いのしし等対策課 30-7088

今年度中に伐採予定



<p>質問</p>	<p>市内同一の福祉活動にならないか。</p>
<p>回答</p>	<p>市の考えは一律に薄く広くということよりは各地域にモデルを作っていたらこうということで、地域の中で幸せの支えをしていこうとしています。</p> <p>今まではケアネット活動で見守りをやってきましたが、安全生活創造事業を女良地区では昨年度から熱心に行っていたしており、この取り組みをモデルとして全市に広げていって、福祉推進員の役割を住民の方々に担っていただき、それを市が支援する形で進めたいと思っています。</p>
<p>対応策の理由 回答後の対応</p>	<p>長年、市内同一の福祉活動に取り組んできていますが、地域によって、課題が異なることから、ニーズに応じた福祉活動を展開できるように支援していきます。</p>
<p>担当部署</p>	<p>福祉介護課 長寿・生活支援担当 74-8111</p>

<p>質問</p>	<p>灘浦小学校、灘浦中学校、宇波保育園の統合が単独に進められると地域の拠点がなくなると思う。中学校に小学校を併設したり、住民センターを併設したりして、住民が集い、災害時の避難場所に使えればよいと考えており、検討をお願いしたい。</p>
<p>回答</p>	<p>いただいた提案を参考に、皆さま方といっしょに考えていきます。</p>
<p>対応策の理由 回答後の対応</p>	<p>灘浦地区学校統合検討委員会から、平成29年4月に灘浦中学校が北部中学校に統合するとの協議結果が市に報告されました。今後、円滑な統合が行えるよう、事前の交流学习やスクールバスの運行などについて、専門委員会を設置し、保護者の皆様等と協議してまいります。</p>
<p>担当部署</p>	<p>学校教育課 総務企画担当 74-8213</p>

<p>質問</p>	<p>この地域では、平成23年度に小学校が統合され、将来的にさらなる統合問題も考えられる。今後10年先の間に更なる統合はありうるのか。</p>
<p>回答</p>	<p>教育委員会としては、学習機能の水準の維持、向上を考えていかなければなりません。子どもの性格によって、学校の大小のどちらがよいのかが違いますが、学校はできるだけ地域に残しておく必要とともに、子どもたちの将来を考慮すると学習や部活動も考えていかなければなりません。</p> <p>地域の方々にとりましては、学校は地域の活動や文化の拠点であり、残したいとの思いがあるものと考えております。そのため教育委員会としては、統合を検討する場合は、地元と十分に協議する必要があると考えております。</p>
<p>対応策の理由 回答後の対応</p>	<p>灘浦地区学校統合検討委員会から、平成29年4月に灘浦中学校が北部中学校に統合するとの協議結果が市に報告されました。今後、円滑な統合が行えるよう、事前の交流学习やスクールバスの運行などについて、専門委員会を設置し、保護者の皆様等と協議してまいります。</p>
<p>担当部署</p>	<p>学校教育課 総務企画担当 74-8213</p>

<p>質問</p>	<p>・棚田オーナー制度について 15年目を迎え、今後の目標として、棚田サミットを氷見市で開催したい。そのために、今年度開催予定の和歌山へ市長に行っていたきたい。 担い手として考えている人はいるが、まだ勤めている人なので現在は難しい。オーナーに対してこちらがサービスするしくみになっているので地元の負担が大きいので大変である。 これまで、このセンターで1回泊まった他に、私の家で日大の学生が4泊と2泊していった程度</p>
<p>回答</p>	<p>【棚田オーナー制度の着地点】を検討しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの15年間の振り返り ・後継者の育成 ・棚田サミットの開催 オーナーに対するアンケート調査は継続申請案内の折に実施を予定しています。</p>
<p>担当部署</p>	<p>観光・マーケティング・おもてなしブランド課 メディア・プロモーション・観光おもてなし担当 74-8106</p>

「長坂棚田オーナー」アンケート結果について

対象：平成25年棚田オーナー26名

回答：18名（回答率69.2%） 市外15名 市内3名

【主な参加動機】

- ・棚田の維持・保全に一役買いたかったから
- ・自然の中で気持ちのいい良い汗を流したいと思ったから
- ・農作業、特に稲作をやってみたいと思ったから

【足りない要素】

- ・棚田オーナー同士の交流
- ・地域の方々との交流
- ・自家用車以外による交通アクセス手段や地元民宿とのタイアップ、さらには農家民泊など、県外からの参加者に利便性を図ったり、新しい魅力を提供すると事業に広がりが増すのではないかと

【その他】

- ・棚田を保全、維持していく事の大変さを痛感します。椿衆の皆さんの思いやりにいつも感謝です。
- ・棚田オーナー制度の草分け的な長坂棚田オーナー事業を続けてください。
- ・いつも楽しみにしています。長年続けて下さっている皆様に心からの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。
- ・県内各地の棚田オーナー事業実施地区との交流を深めればどうか。

質問	見晴らしがよい高坂山への道を整備できないか。
回答	登山ブームでもあり、登るのに30分程度で、磨けば地域資源になっていく可能性があります。観光の分野では知られていなかった場所であり、氷見の最高峰であるので、田園空間の視点から盛り込んでいきます。
対応策の理由 回答後の対応	「石動山を守る会」など地域のみなさんと整備内容や手法を検討していきます。
担当部署	観光・マーケティング・おもてなしブランド課 メディア・プロモーション・観光おもてなし担当 74-8106

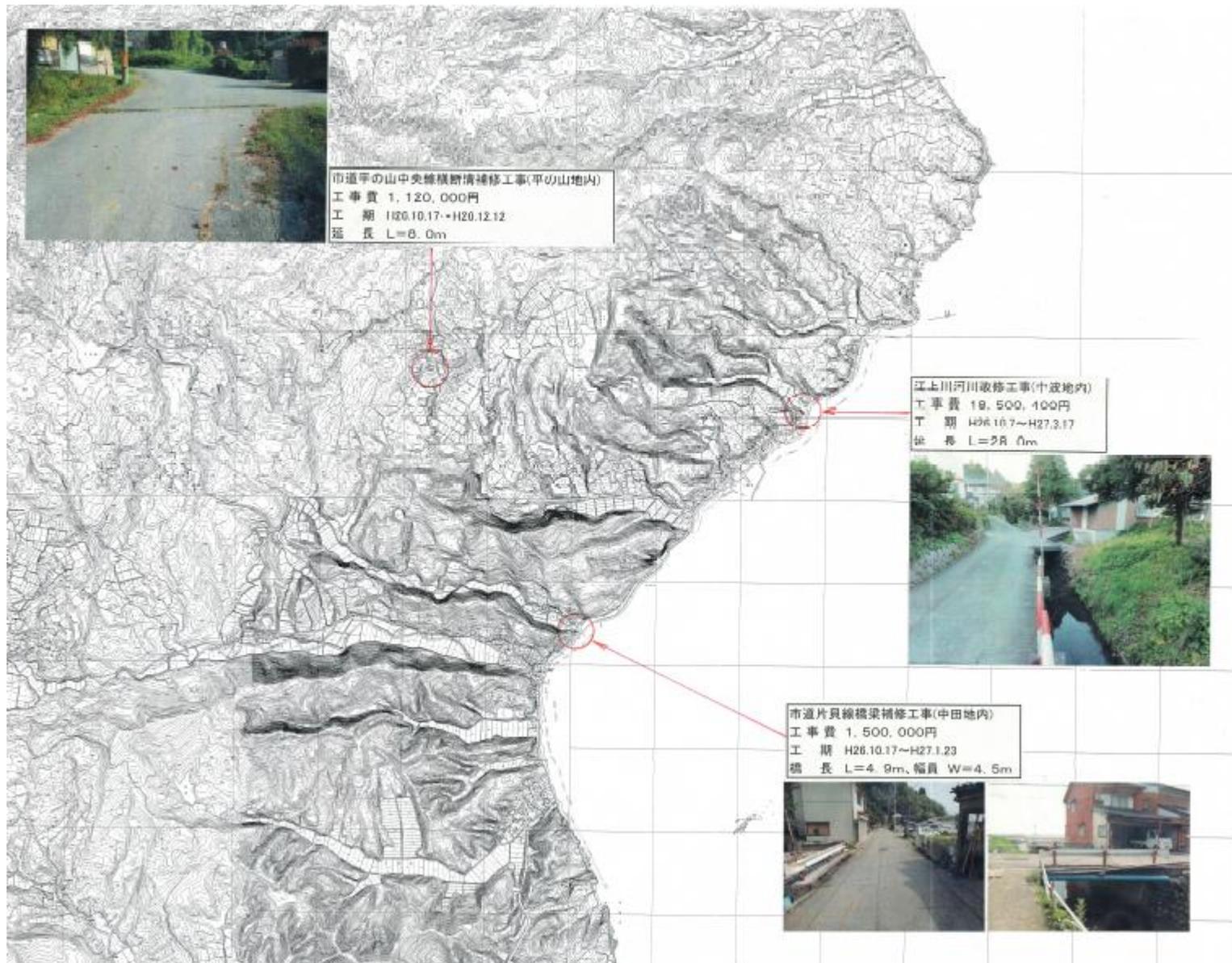
<p>質問</p>	<p>自動交付機の利用率を上げると窓口での発行に係る職員を減らすことができ、他のサービスにまわすことができる。利用率を上げるためには、交付機で発行した場合には料金を下げること も1つの方策ではないか。</p>
<p>回答</p>	<p>自動交付機は住民票では10%ぐらいしか使われておりません。平成26年3月末までに利用率の目標を50%とし、その目標を達成するための取り組みとして、まず、窓口を利用された方にアンケート調査を実施しました。その結果、稼動時間や操作方法などの周知が不足していたことから、広報ひみ6月号でお知らせしたり、案内表示板を大きくしました。7月から啓発ちらしも作成してカウンター等に置き、8月、11月、2月を利用促進月間と位置づけ、新しい市民カードへの切り替えを呼びかけてまいりました。</p> <p>新しい市民カードへの切替件数も順調に伸び、平成25年度実績で132件となっています。自動交付機での証明取得率は平成25年度末現在で、住民票は12.5%、印鑑証明は33.6%と昨年より3%程度増加しています。今後も引き続き広報での利用促進のPRや新しいカードへの切り替えを呼びかけてまいります。</p> <p>新庁舎へ移転し、金曜日19:00時までの延長窓口で新たに印鑑登録の業務を開始しました。それにより、自動交付機で使える印鑑登録証や市民カードの作成が可能となりました。</p>

対応策の理由 回答後の対応	<p>料金設定に関しては、利用促進と受益者負担の両方の観点から適切な設定ができれば、自動交付機の利便性をより高められると考えています。</p> <ul style="list-style-type: none">・証明書1枚当たりの発行に係るコスト 窓口105円 自動交付機806円 <p>1名職員を減らすためには、交付機での発行率を全体で60%までに引き上げることが必要と考えています。</p>
担当部署	市民課 戸籍住民担当 74-8051

質問	<ul style="list-style-type: none">・ 海岸の老朽放置船の処分について 海岸に老朽化した船が固めて放置されていて見苦しい。処分するにしても経費が必要となるため、なんとかならないか。
回答	地区に漂流物の届け出の書類を渡してあります。書類が提出されれば、関係機関に照会のうえ、県に対応をお願いします。
対応策の理由 回答後の対応	<ul style="list-style-type: none">・ 市へ漂流物の届け出をいただき、所有者がいないかを漁協など関係機関へ照会をかけて手続きを進め、所有者がいないことが確認されれば、海岸の管理者である県に対応をお願いします。
担当部署	水産振興課 水産業振興担当 74-8102

氷見市、女良地区の事業概要

■ 女良地区の事業概要



工事等実施箇所

実施年度	工事名	工事(業務)場所	契約日	完成日または完成予定日	最終契約金額
H25	平成25年豪雨災 林道氷北線(3号箇所)復旧工事	吉岡	H26.2.14	H26.4.30	4,545,720
H25	平成25年梅雨災 林道氷北線(1号箇所)復旧工事	長坂	H26.2.17	H26.4.14	7,653,960
H25	国災25年第24号市道中田長坂線道路災害復旧工事	中田	H26.3.27	H26.6.30	6,866,640
				H25計	19,066,320
H26	平成25年災 中田農道(外1箇所)復旧工事	中田	H26.5.1	H26.6.4	2,592,000
H26	平成25年災 馬道水路復旧工事	平	H26.5.1	H26.11.21	2,700,000
H26	平成25年災 林水路(外1箇所)復旧工事	長坂	H26.5.8	H26.9.10	5,778,000
H26	平成25年豪雨災 林道氷北線(3号箇所)復旧(その2)工事	吉岡	H26.8.27	H26.10.3	2,624,400
				H26計	13,694,400

その他の事業

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額	担当課	備考
H25	安心生活創造事業	高齢者世帯等の見守り及び買い物支援等を行い、住み慣れた地域で安心して生活できる体制を整備する。	500,000	福祉介護課	
H25	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵(2段張) 中田 L=3,050m	292,643	農林課	
H25	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵(2段張) 中波 L=1,800m	192,038	農林課	
H25	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵(2段張) 姿 L=1,600m	170,700	農林課	
H25	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵(2段張) 長坂 L=5,110m	490,021	農林課	
H25	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵(2段張) 吉岡 L=1,100m	117,356	農林課	
H25	県営基幹林道氷北線開設事業 (県営事業負担金)	長坂地区	650,000	建設課	H26完成
H25	棚田オーナー事業	長坂の棚田オーナー事業への助成	350,000	観光・マーケティング・おもてなしブランド課	
H25	氷見市文化財センター(旧女良小学校)管理事業	氷見市文化財センターとして活用(維持管理)	1,637,000	生涯学習・スポーツ課	
		H25計	4,399,758		

■ 女良地区の事業概要

26まちづくり
ふれあいトーク

H26	安心生活創造事業	高齢者世帯等の見守り及び買い物支援等を行い、住み慣れた地域で安心して生活できる体制を整備する。	300,000	福祉介護課	
H26	消防団動力ポンプ更新事業	小型動力ポンプ購入費	807,840	警防課	
H26	道路の原材料支給事業	中田地区 生コン70m ³	-	建設課	現在進行中
H26	道路の原材料支給事業	中田地区 砕石20t	4,320	建設課	
H26	ため池改修工事(県営事業負担金)	平沢地区 宮田池	1,000,000	建設課	H28完成予定
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵 姿 L=2,830m	292,335	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	赤外線監視カメラ1基	39,800	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵 中田 L=950m	60,800	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵 長坂 L=3200m	260,073	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵 中波 L=3200m	262,836	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等設置補助金	電気柵 姿 1件	19,000	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等設置補助金	電気柵 中田 9件	373,000	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等設置補助金	電気柵 中波 1件	29,000	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等設置補助金	電気柵 長坂 9件	178,000	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等設置補助金	電気柵 平沢 2件	40,000	いのしし等対策課	
H26	棚田オーナー事業	長坂の棚田オーナー事業への助成	350,000	観光・マーケティング・おもてなしブランド課	
H26	虻が島保全事業	アオサギの防除及び人里植物の駆除	400,000	生涯学習・スポーツ課	
H26	氷見市文化財センター(旧女良小学校)管理事業	氷見市文化財センターとして活用(維持管理)	2,243,000	生涯学習・スポーツ課	
		H26計	6,660,004		

意見交換会